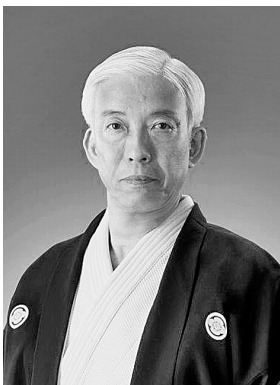


# 久行九馬

## 新春道言

合気道道主 植芝 守央



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

ついこの間のご挨拶を交わしたような気がいたしますが、時はしっかりと刻まれ、目まぐるしくも充実した合気道中心の1年を過ごせたと思っております。

世界に目を向ければ厳しい現実があるのも確かですが、身の回りだけを見れば穏やかなる新年を迎えられる幸せがあります。このような時代だからこそ、例年通りに越年稽古中に新年を迎えられたことに感謝し、新しい年を祝したいと思っております。

昨年の(公財)合気会の動向を振り返りますと、国内外の講習会、記念演武会などの行事を無事にすべて成功裏に1年を終えることができました。

第62回全日本合気道演武大会、令和7年度全日本少年少女合気道錬成大会、第22回全国高等学校合気道演武大会、第64回全国学生合

気道大会、第64回全国学生合気道大会、第64回全国学生合



毎月10日発行

発行所

東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162 0056)

公益財団法人 合気会

(合気道本部道場)

編集人 可児 晋

電話03 (3203) 9236(代表)

FAX03 (3204) 8145

購読料

1ヵ年 2,800円

郵便振替

00150-0-49527番

ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

### 道歌

敵の太刀

弱くなきむと

思いなほ

まづ踏み込みて

敵を斬るべし

### 第64回 全自衛隊演武大会

令和7年12月6日、第64回全自衛隊合気道演武大会が植芝充央本部道場長が臨席の下、200名を超える多数の参加者(含み見学者)を得て、東京都新宿区の防衛省厚生棟体育館で開催された。



植芝本部道場長の模範演武

大会当日は、午前中に藤巻本部道場指導部師範による稽古指導をいただいた。今回は約150名という大人数の者が稽古に参加した。藤巻先生の指導は昨年引き続き2年連続ということもあり、基本技中心の稽古であったが、昨年よりもいっそう技量を向上させようという思いが伝わるような指導をいただいた。

藤巻師範は防衛医科大学校でも指導をされており、参加された学生も喜んでいう様子が窺えた。

午後、西正典大会会長(公益財団法人合気会理事、防衛省合気道連合会会長)が、「今年は特に、年の瀬が近づくと、国際関係が隊務に影響を与え、日常の勤務に影響をもち、皆様の稽古にも支障が出たこと、お互いがぶつからないように配慮しながら、各人が汗を流す稽古が淡々と行われ、道友との再会を喜んでいる様子がうかがえた。

「今年は特に、年の瀬が近づくと、国際関係が隊務に影響を与え、日常の勤務に影響をもち、皆様の稽古にも支障が出たこと、お互いがぶつからないように配慮しながら、各人が汗を流す稽古が淡々と行われ、道友との再会を喜んでいる様子がうかがえた。

### 越年稽古に汗



恒例の本部道場越年稽古は、大みそかの23時半から元旦の午前零時半まで、110名が参加して開催された。稽古に先立ち植芝守央道主は、開祖資料室神前と本

部道場3階にて、行く年と来る年の折りを奏上した。稽古は植芝道主の指導で行われ、参加者が埋め尽くされた道場の中で黙々と稽古が行われた。

### 新年稽古始め

令和8年の本部道場稽古始めは、6日午前6時半より本部道場3階にて、植芝守央道主の指導で行われた。「あけましておめでとうございませう」との道主の力強い言葉で始められ、本部道場指導部をはじめとした約130名の参加者は晴れやかに稽古を行った。

### 入身転換

合気道の日々の稽古のお陰であろ、うか今年も元気に正月を迎えた。合気道の益々の普及発展を願う年明けだ。道友各位も新たに精進を誓われたことと思う。今年は十干十二支(じゅっかんじゅうにし)では丙午(ひのえうま)にあたる。筆者の母が120年前の明治39年生まれで丙午の生まれを大層気にしていた。江戸時代初期にあった八百屋お七の逸話から丙午に生まれた女性は気性が荒いという迷信によるものだ。

この干支(かんし)は火の要素を持つことから勢いを持った陽気の発揚の年になるとも言われている。昨年出版された加来耕三氏の「十干十二支の予言」には丙午はこれまで争ってきたこと、混乱してきたことなどが、前年に解決し、一つの頂点に達したことを受け、次の開始となる年廻りとし、時代の変わる過渡期を象徴する年となるのではと書かれている。

確かに世界情勢を見ると昨年から今年は一つの節目かも知れない。昨年は米国のトランプ大統領に異常な高関税など日本も振り回された感がある。今年は良好な日米関係が確立すれば有り難い事だ。

昨年10月にパレスチナの方々の停戦合意が発効した。今年は米国王導の和平計画の進展が見られることを期待したい。一方、ロシアとウクライナの仲介は米

国が引き続き行っているが予断を許さない状況だ。何とか停戦を実現して貰いたいものだ。日本では日銀が長く続いたマイナス金利政策から一昨年脱却し、昨年1月には政策金利を0.5%へ利上し、更に、先月、0.75%へ引き上げた。30年振りの水準となる。日本経済の大転換となるのではなからうか。(可児 晋)

(公財) 合気会		今年主な行事
1月6日	(火)	稽古始め(本部)
1月10日	(土)	全国道場・団体連絡会議(本部) 賀詞交歓会(京王プラザ)
1月11日	(日)	鏡開き式(本部)
19日	(月)	～28日(水) 寒稽古(本部)
3月17日	(火)	(公財) 合気会理事会(本部)
4月1日	(水)	2日(木) 3日(金) 合気道学校前期開講式「中級、初級、上級」開祖・吉祥丸二代道主を偲ぶ会(本部)
25日	(土)	開祖御命日
26日	(日)	合気神社例大祭(笠間市・合気神社)
29日	(水)	(公財) 合気会理事会・定時評議員会(本部) (予定)
5月15日	(金)	第63回全日本合気道演武大会(日本武道館)
23日	(土)	全日本少年少女合気道錬成大会(日本武道館)
7月19日	(日)	～8月5日(水) 暑中稽古(本部)
7月27日	(月)	第23回全国高等学校合気道演武大会(東京武道館)
8月7日	(金)	令和の日本型学校体育構築支援事業講習会
下旬		2日(金) 3日(土) 合気道学校後期開講式「初級、上級、中級」
10月1日	(木)	～8日(日) 第14回全国合気道指導者研修会(日本武道館研修センター)
11月6日	(金)	第65回全国学生合気道演武大会(日本武道館)
28日	(土)	全自衛隊合気道演武大会
12月5日	(土)	稽古納め(本部)
25日	(金)	越年稽古(本部)
31日	(木)	

# 第64回 全国学生演武大会

## 76 大学、3 高校、700 名が参加



挨拶する道主

第64回全国学生合気道演武大会（主催＝全国学生合気道連盟、後援＝スポンサー）が、茨城県水戸市にある水戸市立中央体育館で開かれ、約700名の学生が参加した。



植芝本部道場長の模範演武

ツバ、読売新聞社、（公財）日本武道館、日本武道協議会、（公財）合気会、全日本合気道連盟は令和7年11月29日（土）に日本武道館において開催され、大学76団体、賛助演武の高校3団体を合わせて約700名が参集した。

星野路明壮全国学生合気道連盟副委員長が開会の辞を述べ、国歌斉唱の後、主催者挨拶として塩路由佳子委員長が「大会を続けていくべきだ」と先陣の功を讃え、続いて未来へと託していくことが良い人生経験になること、普段出会うこと、この学生と交流を深めていただき、演武では日頃の稽古の成果を十二分に発揮していただきたいと述べた。

続いて会長挨拶として全国学生合気道連盟会長・植芝守史道主が「この大会は60年以上の歴史を持ち、学生自身が企画・運営し出場する大会として、その精神がしっかりと受け継がれてきました。その結果、今日この場に皆さんが集い継承しています。この伝統を次の世代へとつないでいただきたい」と述べた。また卒業後も合気道を続けていたこと、合気道を通じて豊かな社会生活を築いていただきたいと願っています。本日は日頃の稽古の成果を存分に発揮し、明日からも全力で頑張ってください」と挨拶。その後、全国学生合気道連盟より旭日小綬受章を受章された道主へ祝福の花束が贈呈された。

続いて来賓の赤沼二男合気会理事から、「稽古の成果を発揮する演武をよく見て学び合い成長につなげてほしい。この場で知り合った仲間との交流は、社会人になっても続いていく大切な縁です。大切にしてください。この経験を糧にして、さらに大きな成長を遂げていただきたいと願っています」と激励の言葉を述べられた。来賓紹介の後、昨年度の会長賞受賞団体・京都大学体育会合気道部から賞の返還が行われ、演武へと移った。

演武は二部構成で行われた。第一部では各大学が日々の鍛錬の成果を披露。続いて鈴木俊雄本部道場指導部師範による稽古錬成が行われ、学生たちは互いに技を磨き合った。

## 年頭のご挨拶（林典夫公財）



新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

お正月と言えは世代を越えて日本古来の情景を各地で楽しめる機会でもありません。丙午（ひのえうま）の穏やかな幕開けかと思ひます。

明けましておめでとございます。合気道に親しむ若者男女すべての皆さま並びに合気道をご支援、ご後援くださっている各界のみなさまにおかれましては、清々しい

28日、東京・元赤坂御苑で開催された天皇皇后両陛下主催の秋の園遊会に出席されました。合気道の道統三代にわたる襲章と勲章の受章は武道界では初めての慶事であり、合気道を修業する私たちにとても大変に名誉なことです。

一方、昨年4月29日の春の叙勲で道主が合気道の普及・振興と国際親善の功勞により旭日小綬章を受章されました。そして同年10月26日まで第2回国際青年合気道大会が東京都・港区スポーツセンターで開催され

## 東北大65周年

分には、明日からも全力で頑張ってください」と挨拶。その後、全国学生合気道連盟より旭日小綬受章を受章された道主へ祝福の花束が贈呈された。

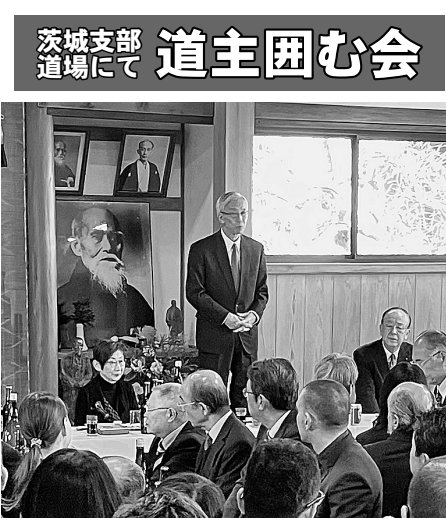
閉会式では、大会会長賞、斯道奨励賞、連盟賞の授与式が行われ、最後に井上莉那全国学生合気道連盟事務局長が閉会の辞を述べ大会は幕を閉じた。

合気道の未来を担う若者たちの熱気と真剣な眼差しが、日本武道館に確かに刻まれた一日だった。

◆会長賞・青山学院大学体育会合気道部  
◆斯道奨励賞・香川大学合気道部  
◆連盟賞・酪農学園大学合気道部、学習院大学輔仁会合気道部、千葉大学合気会合気道部、東京理科大学I部体育局神楽坂合気道部、日本体育大学学友会合気道部、日本大学法・経済学部合気道部、早稲田大学合気道部、中京大学合気道部、関西大学体育会合気道部

よりよい形で未来に繋げていただきたいと思ひます。しっかりと日々の稽古を大切にしながら、合気道部の一員として活動を広げてほしい」と述べた後、道場長は基本技を中心に演武を展開した。

## 道主困む会



植芝道主による挨拶

令和7年12月7日午前10時半より、同年最後の合気神社月次祭が執り行われ

植芝本部道場長による総合演武が披露された。その後江陽ランドホテルに場所を移して祝賀会が行われた。祝賀会には約140名が参加した。東北大学からは、滝澤博胤東北大学理事・副学長、久保正樹学友会体育部長が出席した。大中宏明OB・OG会長からの主催者挨拶の後、滝澤副学長より「合気道部の皆様には日頃の練習から合気道の和合の精神や礼儀を体感・体現しながら国際社会で活躍できる人材へと成長を遂げ、ここに集まった素晴らしい先輩に続いてほしいと思います。最後に、東北大学合気道部の益々の発展を記念し、祝辞とさせていただきます」と挨拶がなされた。次に植芝道主より、「東北大学合気道部の創立65周年誠に



道主、植芝本部道場長を中心に

活動して下さっているおかげです。これを大切にして来年も頑張っていこうと思ひます。本当に一年間ありがとうございました」と挨拶がなされた。五十嵐雅高茨城県合気道連盟常任理事の音頭で乾杯を行った。県内の道場からも多数の参加があり、会では親睦を深め滞りなく行われた。

合気道を正課に採用している

日本体育大学

国際武道大学

道遠軽町、京都府綾部市、東京都新宿区、茨城県笠間市の5地区が、開祖が関わった友好都市ということで調印を結ばれました。これほど素晴らしいことだと思ひます。さらに、各地域での行事や合気会全体の行事が行うことができているのは、現在稽古されている皆様が合気道に対しご理解していただき、前向きに参加が、会では親睦を深め滞りなく行われた。



謹賀新年

全日本合気道連盟

理事長 宮本 鶴蔵  
常任理事 林 典夫

同 山本 高英  
同 梅津 翔  
他一同

国際合気道連盟

理事長 岡本 洋子  
事務総長 コーリー・ヒューマン  
財務総長 加賀 聡

東京都合気道連盟

理事長 井阪 有一  
役員一同

北海道合気道連盟

会長 尾崎 圭  
理事長 佐藤 史  
事務局長 五十嵐 隆行

オホーツク中湧別道場

道場長 尾崎 かなる  
道場代行 尾崎 かなる  
〒099-1636  
北海道紋別郡湧別町中湧別北町二二三  
電話・FAX 0158-611-418

東北合気道連盟

会長 日高 浩(岩手県)  
理事長 船越 光雄(山形県)  
副会長 白川 勝敏(宮城県)  
同 清野 和浩(福島県)  
同 土田 稔(山形県)  
同 米谷 恵司(青森県)  
同 北嶋 貞好(秋田県)  
世界が合気で結ばれます様に

青森県合気道連盟

会長 米谷 恵司  
理事長 片山 茂  
事務局長 山口 輝

秋田県合気道連盟

会長 北嶋 貞好  
理事長 平塚 司  
事務局長 猿田 悟  
役員・加盟団体一同

合気道盛岡道場

道場長 吉田 博徳  
元旦の朝、晴れて風無し。

宮城県合気道連盟

会長 白川 勝敏  
理事長 吉田 洋孝  
事務局長 亀田 誠

大和合気修練道場(神奈川)

宮城野合気修練道場(宮城)  
樋渡 昭彦  
鈴木 博之  
前田 正土  
合わせと和の心で稽古してまいります。

合気道木部道場

道場長 木部 克規  
〒371-0851  
群馬県前橋市総社町総社三六〇四一

合気道修練道場自然館

館長 吾妻 正義  
〒350-1325  
埼玉県狭山市根岸一丁目七十六  
電話 041-2953-9674

合気道明心会

会員一同

蓮田合気会

会員一同

合気道大宮道場

会員一同

大宮合気道倶楽部

会員一同  
〒371-0052  
さいたま市見沼区堀崎町  
電話 048-683-8681

志木市合気道連盟

合気道黎明道場 志木合気会

代表 二輪 明

ホームページ <http://shikakikainai.jp>

新所沢合気道同好会

会長 山口 裕之

師範 御手洗 温磨

ホームページ <http://shinokorozawaki.jimdofree.com>

千葉県合気道連盟

会長 高橋 嗣慶  
理事長 寺本 広道  
連盟役員一同

合気道花見川道場

道場長 齊藤 周二  
道場生の会 花道会一同

柏合気会

会長 西川 裕一  
理事長 宮 等

葛飾区合気道連盟

葛飾合気会  
合気道土井道場  
新小岩合気会  
葛飾区合気道連盟 会長 美濃部 智子  
<https://aikido-katsushika.cryon-site.info/p/3/>

中野区合気道連盟

中野区合気道会  
会長 松本 肇

新宿合気会

会長 長南 一樹  
会員一同

中央区合気道連盟

中央区合気会

浜町道場 佃道場  
会長 白井 成幸  
理事長 齋藤 誠  
連絡先: [kami.chuonki@gmail.com](mailto:kami.chuonki@gmail.com)

大田区合気道会

会長 尾崎 响  
〒143-0024  
東京都大田区中央五丁目一八  
電話 03-3755-1258

神奈川県合気道連盟

会長 武田 義信  
会長 松田 良昭  
理事長 今崎 正敏

合気道青葉塾道場

一技萬鍊

本田 靖生  
〒225-0021  
横浜市青葉区すすき野3-2-1  
藤パークビル  
TEL045-902-1808  
<http://www.ningenkobo.com/aikidou>

合気道五十嵐道場

道場長 五十嵐 和男  
〒151-0133  
神奈川県相模原市緑区橋本五丁目二

愛知県合気道連盟

会長 鷹羽 保夫  
役員・加盟団体一同

尾張合気会

会長 滝本 清三  
会員一同

一修会

代表 中山 栄一

# 謹賀新年

## 津市合気道連盟

会長 杉田 憲司

## 岐阜県合気道連盟

## 富山合気会

代表 島 恵司

電話 〇九〇一六七二二九四

会員一同

## 滋賀県合気道連盟

会長 金子 均

理事長 清水 正男

(連盟事務)shiga-aiido@gmail.com

## 京都合気会

代表 小山 照雄

会員一同

## 奈良県合気道連盟

会長 窪田 育弘

理事長 田中 利明

理事一同

## 大阪府合気道連盟

会長 木村 二郎

副会長 田中 利明

理事長 須磨 弘

副理事長 藤本 治男

副理事長 吉田 智晋

役員・加盟団体一同

## 公益財団法人 大阪合気会

代表理事 田中 利明

## 合気道大阪武育会

会長 木村 二郎

理事長 上村 和康

## 合気道大阪道友会

会長 杉野 喜浩

中村吉祐師、河内に合気の種播き早六十年。

## 合気道洗心館

館長 小口 信一

電話 〇九〇一六七八七七八五  
大阪にお越しの折にはぜひお立ち寄りください。

## 和歌山県合気道連盟

会長 九鬼 家隆

副会長 曾我部大剛 理事長 冷水照夫

副理事長 川崎弘徳 事務局長 松本一夫

道場長一同

電話・FAX 〇七三三四六八〇四四五

## 合気道熊野塾

田坂 光男

栗林 盛夫

新宮市元教台町一五一一

## 神戸せいぶ館

館長 中尾 眞吾

## 相生會

堀井 悦二

## 合気道正武会 岡山県合気道連盟

圭臨範 壬生川 堯一

門下生一同

## 鳥取県合気道連盟

米子合気会 鳥取合気会

倉吉合気会 合気道国府Club

## 広島県合気道連盟

理事長 渡邊 祐司

aiido-hi.jp

## 高松合気会

会長 西原 浩

香川県高松市扇町一三三三三八  
電話・FAX 〇八七二二一八七〇四  
http://takamatsu-aiki.secret.jp

## 合気道敷島塾

名誉会長 工藤 泰助

会長 橋本 久

## 一般社団法人 合気道合心館

電話 〇八九九三三四三三三

E-mail: aishinkan@mirror.ocn.ne.jp

## 高知県合気道連盟

会長 岩目 建紀

理事長 松村 俊典

https://koehakidou.com

## 特定非営利活動法人 日本ミヤンマー合気会

理事長 稲垣 繁實

監事 鈴木 敏弘

東南アジア諸国の青少年育成を支援しています。

## 会 心 央

会長 小野 浩

副会長 藤谷 護人

幹事 山嶋 武

東城 あさ

広瀬 篤

大沢 正一

熊谷 浩

## 全国学生合気道連盟

公益財団法人合気会

## 合気道本部道場

## 東北学生合気道連盟

## 関東学生合気道連盟

## 中部学生合気道連盟

## 中四国学生合気道連盟

## 公益財団法人合気会 茨城支部道場

道場長 植芝 充央

相談役 磯山 博 指導部 永島義道

総務部長 稲垣繁實 同 平澤憲次

指導部 大和田幸正 同 秋本英裕

同 磯山俊博 同 川上俊明



## シンガポール派遣 日本武道団



入江師範を中心に

日本人学校チャング校で武道交流演武会が行われた。小学生約570名と保護者、学校関係者が観覧した。演武会開会式では松越正純同校小学校校長と川端達夫氏による挨拶、記念品贈呈が行われた。また、各道・流派の演武の他、代表児童数名による武道体験も行われた。

タ方からは、石川浩司駐シンガポール日本国特命全権大使主催の日星武道交流レセプションが大使公邸で行われた。

開会にあたり石川大使より「来年シンガポールと日本の友好関係樹立60周年を迎えるこの年に、日本武道代表団の皆さんによる演武大会が行われることは、シンガポールの方々から日本への関心をさらに高めるのに大きく寄与することでしょう。シンガポールにおける武道のさらなる発展に繋がるよう心より願っています」と挨拶があった。

11月29日、パナソニックシンガポールのイベントホールにて交流稽古が行われた。シンガポール国内から7団体ほか近隣諸国から92名が参加した。稽古後には懇親会が行われた。

11月30日、シンガポールスポーツハブOCCアリーナにて武道演武大会が行われた。観覧者数は約1000名であった。演武大会の後に行われたワークショップには、大勢の子供たちをはじめ現地の学生が参加し大盛況であった。

同日行われたフェアウェルパーティーでは川端達夫氏より「皆様に熱心かつ真剣に取り組んでもらったおかげで、大きな成果を上げることができました。本場にありがとうございました。それぞの団体、各個人皆様の益々のご発展と活躍を期待しております」と挨拶があった。

習日解団式が行われて本派遣の全日程を終了した。12団体から延べで386名が参加した。アルジェリア、オランダ、イギリス、リトアニアといった、海外からの参加もあった。全体として、若年層と年配の方のバランスがよく、約3割が白帯を締めていた。

懇親会で話している、参加者各々が幅広い指導者の影響を受けていることを知った。これからも、他団体に対して寛容な姿勢で交流する事で発展していったらいいと感じた。(本部道場指導部師範 藤巻宏)

令和7年度シンガポール共和国派遣日本武道代表団は昨年11月26日から12月2日まで、川端達夫(公財)日本武道館理事長を団長に、現代9武道と古武道3流派より事務局を含め総員70名がシンガポールに派遣された。

合気道からは入江嘉信本部道場指導部師範、梅津翔同部師範、藤田すみれ同部指導員、野中力樹同部指導員、日本武道館武道学園委嘱指導者の安藤裕司氏、青山学院大学合気道部OB山本宗次郎氏が参加した。

出発に先立ち、11月26日にウィラフォンテーヌベル

から18日までベルギー合気会講習会の為、ベルギーの首都ブリュッセルの隣町、ティーネン市を訪問しました。

ティーネンのパトリック先生以下、地元のメンバーの協力で市内のスポーツ複合施設に約300枚の畳を敷き詰めた広い施設を使っ

ての講習会を開催することができました。

講習は14日夜から始まり、ベルギー国内各地は勿論の事、近隣のオランダ、ドイツ、フランス、さらにノルウェー、イタリア、スペイン、チェコ、スロヴァキア、

ハンガリー、ブルガリア、更にはカナダからの参加者も含め、14力国250人が集まり、16日までの3日間、広い会場も熱気で満たすような勢いの中で行われました。

2026年は「日本・ベルギー国交樹立160周年」の節目に当たり、ベル

ギー合気会としても大きなイベントを企画していると事でした。(本部道場指導部師範 栗林孝典)

イタリア講習会  
昨年11月26日から12月2日まで、私(栗林)は、11月13日

から18日までベルギー合気会講習会の為、ベルギーの首都ブリュッセルの隣町、ティーネン市を訪問しました。

ティーネンのパトリック先生以下、地元のメンバーの協力で市内のスポーツ複合施設に約300枚の畳を敷き詰めた広い施設を使っ

ての講習会を開催することができました。

講習は14日夜から始まり、ベルギー国内各地は勿論の事、近隣のオランダ、ドイツ、フランス、さらにノルウェー、イタリア、スペイン、チェコ、スロヴァキア、

ハンガリー、ブルガリア、更にはカナダからの参加者も含め、14力国250人が集まり、16日までの3日間、広い会場も熱気で満たすような勢いの中で行われました。

2026年は「日本・ベルギー国交樹立160周年」の節目に当たり、ベル

ギー合気会としても大きなイベントを企画していると事でした。(本部道場指導部師範 栗林孝典)

イタリア講習会  
昨年11月26日から12月2日まで、私(栗林)は、11月13日

から18日までベルギー合気会講習会の為、ベルギーの首都ブリュッセルの隣町、ティーネン市を訪問しました。

ティーネンのパトリック先生以下、地元のメンバーの協力で市内のスポーツ複合施設に約300枚の畳を敷き詰めた広い施設を使っ

ての講習会を開催することができました。

## ひたちなか創設50周年

ひたちなか合気会(会長五十嵐雅高七段)は、前身であるひたちなか市合気道連盟創設50周年を記念した演武大会を昨年11月23日、ひたちなか市総合体育館で盛大に開催した。大会には植芝充央合気道本部道場長にご来賓頂くとともに、茨城県内及び関東近郊の友好26団体の参加を得て、少年団も含めると、約280名が参加した。

開会式では、五十嵐雅高会長が「多くの方の出逢いとご支援により今日がある、感謝の50周年です」と挨拶。植芝充央合気道本部道場長は「50年の長い歴史の中で皆様が丸一となって取り組んでこられた。これからも気持ち一つに稽古をお続けください。この演武大会が今後の更なる成長の活力になることを期待し

ます」と述べられた。また、ひたちなか市長や地元選出代議士・県議・市議の祝辞が続いた。

演武は第一部から第三部まで行われ、第一部ではひたちなか地区の少年部40名と一般会員80名が真剣で清々しい演武を披露し、各々がこれまで研鑽してきた稽古の成果に会場は拍手に包まれた。

第二部、第三部は友好賛助団体26団体による演武で、基本技や変化技等気迫のこもった技が次々と展開され、会場は緊迫感と熱気に満ちた。また、本部道場指導部師範の安野正敏八段・合気道研究会インターナショナル師範の武田義信八段が円熟の演武を披露し、多彩な技が次々と繰り広げられた。

締め括りの第四部では植芝充央合気道本部道場長による特別総合模範演武が披露された。入身、転換、転身といった基本的な動きによる流麗で柔らかな動きからの鋭い技の連続に観客は

一つ一つの動きに見入り、息を呑む静寂に包まれた。最後に二人掛けを終える大きな拍手が会場に鳴り響き歓声に沸いた。

大会終了後は市内のホテルクリスタルパレスで祝賀会が開かれ、植芝充央合気道本部道場長や多くの来賓を含め約180名が出席。来賓挨拶の後、創設当時を知る会員や古くから友誼を結んできた先生方が黎明期の稽古やこれまでの活動を回想し、会場は交流の和と感想に包まれた。また、会員手作りの楽しい余興で会場が大いに盛り上がり、笑いと拍手にあふれる温かな時間となって、50年の歩みを共に祝った。

(大会幹事長 阪本善彦)

中四国学連、演武会  
昨年11月8日、香川県立武道館にて、第52回中・四国学生合気道演武大会が開催された。

来年も、本部師範による講習会、演武大会が無事に開催されることを願う。(中・四国学生合気道連盟委員長 井上莉那)

本年度は演武大会の前に桂田英路本部道場指導部師範、野中力樹本部道場指導部指導員のご指導の下、講習会を開催した。講習会には75名の学生が参加し、約1時間の講習会の後、13時から演武大会が行われた。

中・四国学生合気道連盟の7校と、賛助演武として、全地区の学生合気道連盟委員長が演武を行った。

今年度は、自由技を大学ごとに行ってもらい、それぞれの大学が日頃の稽古で培った特色ある技を存分に発揮した。大学ごとに個性が光る演武となり、見る者を惹きつけたと感じる。学生同士が演武を通じて学び合い、今後の稽古への意欲を新たにしている良い機会となっただろう。

呈され、会場は大きな拍手に包まれた。澤田師範の道歴60年と道場の四半世紀に渡る歩みを称え、今後のさらなる発展に期待を寄せつつ、祝賀会は幕を閉じた。(合気道本部道場指導部指導員 有馬隼人)

## 央名会(愛知)創立25周年

愛知県を拠点に活動する央名会氣守道場は、昨年11月22日(土)、創立25周年を記念する祝賀会を愛知県春日井市で開催した。国内外から総勢160名が参加し、特に海外から40名が来日するなど、国際的な交流の場となった。

当日は、植芝守央合気道道主をはじめ、林典夫・公益財団法人合気会常務理事、鷹羽保夫・愛知県合気道連盟会長、木村二郎・大阪府合気道連盟会長など多数の来賓が出席した。

澤田俊晴・央名会氣守道場道場長は「この度は道主をはじめ、多くの方々にお

越したいただき誠にありがとうございます。これからの人生も益々合気道に励んで、一生を過ごしたいと思っております」と挨拶を述べた。

次に道主より「澤田師範、奥様、本当におめでとうございませう。澤田師範道歴60周年・氣守道場創立25周年を記念する会が、このように国際色豊かで、合気道の心が充実していると感じ、私は非常に嬉しく思います。これは澤田師範が60年に渡り情熱をもってご自身の研鑽と会員への指導を続け、またそれを受けた奥様と、会員の皆様が積み重ねてきたものの結果だと思えます。澤田師範と奥様、そして央名会氣守道場の皆様

の益々のご健勝とご多幸を祈念しております」と祝辞を贈られた。

その後鷹羽愛知県合気道連盟会長の発声で乾杯が行

た。本年度は演武大会の前に桂田英路本部道場指導部師範、野中力樹本部道場指導部指導員のご指導の下、講習会を開催した。講習会には75名の学生が参加し、約1時間の講習会の後、13時から演武大会が行われた。

中・四国学生合気道連盟の7校と、賛助演武として、全地区の学生合気道連盟委員長が演武を行った。

今年度は、自由技を大学ごとに行ってもらい、それぞれの大学が日頃の稽古で培った特色ある技を存分に発揮した。大学ごとに個性が光る演武となり、見る者を惹きつけたと感じる。学生同士が演武を通じて学び合い、今後の稽古への意欲を新たにしている良い機会となっただろう。

呈され、会場は大きな拍手に包まれた。澤田師範の道歴60年と道場の四半世紀に渡る歩みを称え、今後のさらなる発展に期待を寄せつつ、祝賀会は幕を閉じた。(合気道本部道場指導部指導員 有馬隼人)

や他学生連盟による賛助演武、連盟加盟校同士の学生が行う交流演武、そして、最後に本部道場指導部師範藤巻宏先生による模範演武の五段構成によって行われました。

藤巻先生の素晴らしい演武から多くのことを学ばせて頂き、大変貴重な経験となりました。(中部学生合気道連盟委員長 星野路明 壮)

## 令和7年度 外務大臣表彰

ホセ・マヌエル・バルバ・カルタージャ氏(キユーバ合気道八頭会代表)

合気道を通じて日本とキューバとの文化交流の促進に尽力し、友好親善に寄与。

合気道を通じて日本とキューバとの文化交流の促進に尽力し、友好親善に寄与。

合気道を通じて日本とキューバとの文化交流の促進に尽力し、友好親善に寄与。

合気道を通じて日本とキューバとの文化交流の促進に尽力し、友好親善に寄与。

合気道を通じて日本とキューバとの文化交流の促進に尽力し、友好親善に寄与。

合気道を通じて日本とキューバとの文化交流の促進に尽力し、友好親善に寄与。

合気道を通じて日本とキューバとの文化交流の促進に尽力し、友好親善に寄与。



# 各道場の昇段者

令和 7 年11月15日～  
12月 9 日  
(公財)合気会登録

【四段】  
◆本部道場＝渡邊広晃、青木智子◆高知合気道グループ＝橋田薫◆相馬合気道教室＝大友繁裕◆鹿児島合気道錬成館＝井木晃良◆沖縄合気会＝アントリム満◆合気道神武錬成塾＝齋田淳一、服部卓、佐川航一◆坂戸合気会＝宮本修三◆合気道正和会＝大久保裕司◆千葉合気道館＝高山和良◆船橋合気会＝椎名恵子◆時空館道場＝関崎健二◆相模原合気道同好会＝臼井明友◆大塚道場明道館＝小池隼平◆天心道場＝藤川孝◆合気道敷島塾＝越久田直己、高木賢治、宇山智勝、山下謙二、森本幸司、和田拓海、岩崎修司◆武産合気誠流会＝伊藤裕幸◆福井合気会＝藤田由紀◆麻生同心会＝長嶋幸司、名取浩介◆新川塾＝田端浩典◆小林道場＝A.Alzaidi、B.Nimz、楊春革、M.Reaves◆BRAZIL＝M. Uehara、D. Rodrigues◆LEBANON＝S. Haidamous◆POLAND＝B. Chronowski、M.Buba◆U.S.A.＝A. Watson、K.Kramer、S.Richter、D.Soroko、K.Schafer◆FRANCE＝M. Thoretton◆FINLAND＝T. Lassila◆SERBIA＝S. Kremer◆NEWZEALAND＝S. Don◆NORWAY＝R. Madsen、J. Albertsen、T. Vanem◆RUSSIA＝N. Kirin、D. Baryshev、V. Shigaev、D. Shakirov、A. Ananiev◆MEXICO＝H. Pena、J. Jimenez◆IRAQ＝E. Rahem◆DENMARK＝M. Kreutzfeldt◆中華民国台湾＝陳彦銘、劉叔宙◆HUNGARY＝T. Toth、Z. Szantai、S. Balazs◆UKRAINE＝M. Voroniy◆TUNISIA＝K. Mejri◆NETHERLANDS＝T. Meulen

【参段】  
◆本部道場＝吉川典孝、堅田茂樹、吉田英二◆合気道円水会＝小林知史◆中葛西道場＝佐藤修、遠藤愛子◆合気道稽古会美健会＝米山淳◆浦和合気会＝宮原茂樹、山崎徳一郎◆戸塚合気道教室＝草薨勇◆合気道研修会道場大阪＝村上文子、三井千恵子◆合気練成会＝犬飼大輔◆長崎合気道会＝綿貫里香◆春水道場＝押谷量平、石川優輝◆小林道場＝加藤純一、R. Vatz、K. Verheylezoom、C. White、C. Gillard、K. Toussaint、L. Valeta、J. Coelho、J. Salvo、P. Crisostomo、R. Gonzalez、孙多、王浩、刘雪琳◆祥平塾＝山川哲平、一井洋孝◆杉並合気会＝C. Hooper◆合気道心和会＝山田幸朗◆千葉合気道館＝中村健一◆調布合気道会＝早矢仕基◆津合気道会＝鈴木亜妃◆伊豆至誠会＝ヘンリー・ケーシー◆土井道場＝菅生紀子◆等々力道場＝澤井長利◆合気道敷島塾＝マーンズ・トレバー◆防衛省合気道連合会＝中山勇輝◆麻生同心会＝伊藤英典◆央名会氣守道場＝越川洋臣、澤瀬俊久、中村修久◆おあしす合気会＝川端和美◆流山合気会＝赤根芳秀◆

合気道和心会＝安岡健二◆新川塾＝吉田琢磨◆合気道三心会＝井山大介、小坪萌依子◆吹泉館＝J. Camargo Jr.◆合気道金沢クラブ＝森山丈継◆駿勇会＝内藤朱美◆SPAIN＝R. Eugenio、L. Garcia、G. Dumont、P. Montelongo◆BRAZIL＝G. Janino、M. Nishioka、G. Amorim Jr.、C. Babler、M. Camada◆U.S.A.＝R. Glasgow、J. Reed、S. Gunther、D. Bryan、C. Batilo、E. Bechet、S. Bechet、R. Madej、A. Fitts、J. Lynn、C. Hohenleiten、S. Pawlowski、A. Penney◆TURKEY＝T. Aktas◆AZERBAIJAN＝F. Nuriyev◆RUSSIA＝O. Prilukova◆ESTONIA＝R. Silva◆FINLAND＝J. Kaukomo、H. Scheinin◆MONGOLIA＝D. Byambasuren、M. Namsraijav◆LITHUANIA＝R. Zemgulys◆NORWAY＝L. Smith、E. Rokke、C. Rescigno、J. Arnfinson◆TATARSTAN＝P. Koptev◆MEXICO＝A. Picos、M. Cortes◆IRAQ＝S. Salman◆VIETNAM＝N. Doan◆HUNGARY＝Z. Szanto、L. Veres◆ITALY＝L. Ruggeri◆NEPAL＝R. Shrestha、杨贵文◆TUNISIA＝K. Ghazouani、M. Ezzedine、R. Graham、B. Labidi◆U.A.E＝J. Choueiri◆NETHERLANDS＝T. Holtgreffe、W. Tolkamp、J. Postema

【貳段】  
◆本部道場＝井潤奏音◆心架塾＝三好小太郎、津之下聡◆中葛西道場＝田中友美◆合気道岐阜すみきり館＝大洞剛史◆合気道稽古会美健会＝遊佐隆行、小宮光二◆愛媛合気道塾＝須之内雪、高辻龍◆阿見合気道クラブ＝飯塚奈津紀◆浦和合気会＝勝本昭良◆鎌ヶ谷合気会＝佐野涼太郎◆坂戸合気会＝M. Uchkepirov◆春水道場＝水島基博◆小金井武道館＝楊貴行、奥村友紀、鳥居毅、佐藤美由紀◆小林道場＝加園幸輝、木津穂高、福神剛彦、諸星悦子、石橋和高、E. Klopfer、E. Sagay、S. Jones、C. Nguyen、C. Gonzalez、R. Saavedra、A. Pignatelli、陈恬、庄钦、张婷婷、陈湔轩、刘硕、郭思薇、S. Nidbelaid◆祥平塾＝E. Dossou◆川越道場＝西川曉◆相模原合気道同好会＝石田俊郎◆堺合気道＝三生海里◆大塚道場明道館＝角田尚子、星道子◆中央区合気会＝古賀麻奈美、來嶋達也◆中野区合気道会＝遠藤弘氣◆津合気道会＝沼田真大、木口洋輔◆天心道場＝萩原彼野人◆合気道敷島塾＝能勢和聡、尾沢建志、中村敏子◆入間幸武館道場＝倉増敬◆品川区合気道交友会＝早坂遊羽◆武産館＝高嶋万理奈◆谷神会福井合気道錬成会＝松永将明◆麻生同心会＝村井伸二◆流山合気会＝和泉俊佑、木村豊◆合気道三心会＝此村恵子◆吹泉館＝永田ひろみ◆青森県武道館道場＝笹恵美子◆勇清塾＝梅山吾郎◆むさむら合気道同志会＝柿田昭彦

◆合気道近江＝西居かおり、西居弘泰◆神奈川大学＝亀友美南◆和歌山県立医科大学＝山路千咲◆TURKEY＝E. Demir◆LEBANON＝D. Azzi、P. Raii◆POLAND＝M. Gajerski、P. Born、M. Fijalkowski、T. Gancarczyk、S. Ludwikowski、: A. Gorak◆U.S.A.＝D. Henderson、M. Strother、Z. Jiang、F. Locher、A. Mergner、M. Rathgeber、I. Little、N. Stiens、S. Brandl、仲村芳子、B. Kirchmann、F. Thorwirth、L. Rohloff、L. Clark、R. Totani◆BRAZIL＝P. Souza、M. Perez◆FINLAND＝C. Drocan、M. Pulkkinen、A. Lahteenmaki◆NORWAY＝V. Valchev、J. Vano◆TATARSTAN＝V. Durasov◆MEXICO＝J. Vargas、E. Cervantes◆SAUDIARABIA＝A. Barakat◆AZERBAIJAN＝M. Musayev◆IRAQ＝M. Hamzah◆VIETNAM＝L. Tam◆DENMARK＝N. Meyouhas◆中華民国台湾＝張元鴻◆U.K.＝S. Domitile、C. Orlando、G. Richardson◆ITALY＝G. Marini、F. Passerini◆TURKEY＝T. Unlu◆NEPAL＝S. Lungeli◆UKRAINE＝S. Vakulenko、M. Hryhoruk◆TUNISIA＝K. Graham、M. Mansour、E. Hmida、M. Dahmen、N. Khatra◆U.A.E.＝K. Aramaki◆CONGO＝D. Kandolo、C. Missamoud、R. Tchapi◆RUSSIA＝A. Vinokurov、E. Nenashev、A. Shilin、Y. Rega、S. Grigoryants、S. Artemchik、P. Erokhin、D. Gudkov、A. Popenko、A. Blagikh、P. Rybakov◆中国＝盧佳梁、平彰艳、D. Moskov◆NETHERLANDS＝A. Weijers、H. Vink、R. Christiaanse

【初段】  
◆本部道場＝葛城のぞみ、加藤有香子、陳龍◆心架塾＝武本陽輝◆三澤塾＝山田英佑、小林正幸◆白岡合気会＝大木繁◆合気道稽古会美健会＝小林竹芳◆山口合気会下田合気会＝遠藤富恵◆愛媛合気道塾＝堀井結乃、西永芽依奈、濱田步茉希◆一宮合気会＝櫻井信彰◆浦和合気会＝奥倉佳穂◆奥飛驒円心会＝野口未尋、塚中祐佳◆合気道神武錬成塾＝東松由樹◆国分寺合気会＝遠藤芳信◆坂戸合気会＝佐藤幸子◆長崎合気道会＝福原颯太◆志木合気会＝大村相哲◆小林道場＝今澤光博、ヨシケール藍子、山田和男、中村昌宏、J. Narcise、D. Nguyen、S. Pticar、B. Yang、C. Scott、M. Medrano、J. Salina、龚健、张冰、苍天欣、张敏蕊、肖原、堂免剛、李双婕、孙朝晖、田亦可、盛世宇、苏立珂、袁剑、张德玲、王大有、G. Bystrov、I. Czajkowski、K. Ghadeer、M. Buhenaidi、S. Altobiani、S. Almusawi、Y. Alqooti、Y. Belhouan◆祥平塾＝D. Anago、G. Alle◆菅原総合武道研究所＝安元理就、A. Kelley◆八戸道場＝兼田由美、田村武智◆川越道場＝廣瀬泉紀◆船橋合気会＝大野敬一、佐久間俊子、尾花桂都、河村愛子、大木紬生◆時空館道場＝中村英雄◆多摩合気会＝中保穂◆堺合気道＝長沢玄◆大塚道場明道館＝島田美和子、鈴木真◆津合気道会＝一二三知浩、山本文章◆天心道場＝T. Allen、上田貴弘、辻下ありさ◆等々力道場＝増山正幸◆合気道敷島塾＝齊藤範子、

三戸結衣花◆品川区合気道交友会＝大向輝奉、小林憲行◆武産館＝中上範子、品川修吾◆武産合気誠流会＝堤弘史◆福井合気会＝干場拓也◆豊中正泉寺道場＝八木康二、森本明子、前田久美子◆防衛省合気道連合会＝伊藤隆仁◆光道会＝吉川法子◆合気道瀬戸義塾＝Macaisa一真Patrick◆かながわ合気道会不入斗合気道教室＝チャーチル・アレン◆長谷川道場＝森颯雅◆央名会恵山道場＝堀田章仁◆向日葵道場＝谷田部遼子◆正道友和会＝野村道英◆流山合気会＝八木博美、八木絢音、山本孝洋◆合気道 and 心会＝中本麻衣子◆伊豆至誠会葦山合気会＝吉岡涼◆新川塾＝山本広美、今井幸、荒木大輔◆清流館＝更家雅之◆合気道三心会＝井庭知哉◆吹泉館＝M. Michael、M. Maya、S. Marina◆紀州熊野合気会＝塚田幸◆甲南大学＝佐藤武彦、南原遙、紀伊康平◆高知大学＝森紫野◆上智大学(ソフィア合気会)＝手島愛夏◆信州大学＝若本竜弥◆神奈川大学＝矢作実穂◆青山学院大学＝加藤嶺奈◆明治大学体育会合気道部＝松本想生、亀井心一◆和歌山県立医科大学＝松本茉莉、池田華歩◆TURKEY＝D. Oner、B. Mavigoz、A. Ayaz、A. Uysal、A. Agaoglu、E. Gurhan、G. Celik、K. Kayadelen、M. Kaptan、O. Aktas◆LEBANON＝C. Elhajj、P. Daccache◆POLAND＝P. Lyp、C. Maslo、A. Bartoszek、R. Broda◆U.S.A.＝J. Buenviaje、M. Patel、A. Balinas、L. Szyonczyk、A. Pollack、J. Alcaro、A. Aguilar、B. Sherman、P. Hasenkamp、H. Escarcega、R. Alfonzo、R. Voigt、A. Arias、M. Okai、A. Rojas、M. Takeda、D. Pedowitz、A. Perkins、S. Patel、S. Moore◆BRAZIL＝I. Santos、T. Freitas、I. Melo◆RUSSIA＝Y. Drobot、A. Gorbatovskiy、V. Mzhelskaya、A. Berestetskii、S. Svyataya、R. Lebedev、V. Molchanov、A. Korsunov、S. Slepnev、V. Ivanov、E. Kosenkin、V. Pronin、I. Vitushkin◆ESTONIA＝A. Kullerkupp◆FINLAND＝K. Mikkola◆MONGOLIA＝J. Tumurbaatar、D. Demchigjav、B. Zorigt、E. Ravdan、B. Batmunkh、B. Otgonbayar、O. Amgalanbayar、G. Damdinsuren、K. Bayarsaikhan◆TATARSTAN＝A. Mukminov、A. Semelit、D. Shigabutdinova、V. Gorbunov、Y. Kolushev◆SWITZERLAND＝R. Hesami、S. Kunzelmann◆AZERBAIJAN＝J. Mehraliyev、C. Zeynalova◆INDONESIA＝R. Sukarno、F. Raturomon◆IRAQ＝Q. Fwzy、O. Abd、H. Taaban、A. Salman、Y. Wardi◆VIETNAM＝T. Anh◆U.K.＝S. Morassut、J. Delaney◆中華民国台湾＝鄭越峯、曾廣君、劉宗富、彭權愷、陳志維、葉佳佳、歐蓓綺、羅御豪、胡金印◆SPAIN＝J. Gonzalez、I. Ballbe、C. Cervantes◆HUNGARY＝A. Santa、T. Pospischil◆ITALY＝T. Marinini、C. Benini、L. Biagi、G. Marunti、V. Pezzetta◆NEPAL＝M. Lee◆TUNISIA＝H. Mejri、Y. Masmoudi、L. Habib、Y. Masmoudi、Y. Amouri、F. Graham◆CONGO＝B. Oko、C. Kebansi、E. Matondo、J. Backay、D. Ntsibah、D. Lumbu、E. Kolela、E. Peltier◆中国＝李瑩瑩

上尾、指導者研修会  
令和7年度埼玉県(上尾市)地域社会合気道指導者研修会が、昨年11月15・16日にリプロ武道館(埼玉県立武道館)にて行われ、19団体65名が参加した。

中央講師として、本部道場から大澤勇人指導部師範、野中力樹指導部指導員が派遣された。地元講師を吾妻正義埼玉県合気道連盟理事長、萩原勇一郎埼玉県合気道連盟常任理事が務めた。

稽古は両日3コマ行われ、1日目の大澤師範による稽古では、半身の取り方や体捌き等を確認した後、

16日は午前には櫻井師範と吉川師範の稽古が行われ、午後には櫻井師範により講習会のまとめの稽古が行われた。

櫻井師範は転換法と座技呼吸法の動きを元にして基本技を中心に指導され、参加者は熱心に稽古に励んだ。

栃木、指導者研修会  
令和7年度栃木県(宇都宮市)合気道地域社会指導者研修会は、昨年11月15、16日に栃木県立ユウケイ武道館にて開催されました。

中央派遣講師として伊藤眞師範とセシナス・アレクシ指導員をお迎えし、地元講師として栃木県合気道連盟会長の阿部寿一と同理事の飯島典生が担当いたしました。栃木県合気道連盟所属の5団体から55名が参加しました。

開会式では、阿部県連盟会長からのご挨拶と伊藤師範からお言葉を頂き研修会が開始されました。基本技

から応用技、座技、半身半立、立技と幅広くご指導いただきました。普段はなかなか受けることができない本部道場指導部師範のご指導は大変勉強になりました。気づきを得ることができました。

また、稽古中には、参加者一人ひとりに直接技のご指導をして頂き、白帯の参加者にも分かりやすく丁寧にご説明いただきました。

特に相手の力とぶつからない崩し方や技のかけ方やなど、難しい動きは何度も繰り返し見せていただきました。参考にになりました。休憩時間には参加者同士で腕の使い方や体の動きを再確認する様子が何組も見られました。今後の稽古のヒントをたくさん頂いたように思います。(栃木県合気道連盟理事 牛木陽二)

三重、特別講習会  
三重県合気道連盟は、昨年11月23日、令和7年度三重県合気道連盟本部師範特別講習会、サオリーナでお馴染みの三重武道館にて大澤勇人本部道場指導部師範をお迎えし開催しました。

県内から100名を超える参加者が集い、盛況のうち無事終了しました。

大澤先生の直接のご指導は、参加者にとって大変貴重な学びの機会となりました。基本動作の確認から、無理のない動作を重視した丁寧な説明により、合気道の本質を深く理解することができました。

今回得られた成果を今後の稽古や指導に活かし、三重県合気道連盟は合気道のさらなる普及・発展に努めてまいります。(三重県合気道連盟 米川憲久)



大澤師範の指導